

マウスを用いる血糖値上昇抑制試験

検体をでんぷん(またはグルコース)と同時にマウスに強制経口投与し、投与前、投与後30、60、90、120分の血糖値を測定することで、血糖値の上昇を抑制する効果を確認する試験です。

基本設計

- 試験動物：ICR系雄マウス
- 群設定：試験群(検体+でんぷん)及び対照群(でんぷんのみ)
- 動物数：1群6匹
- 試験料金：40万円(税抜き)～
- 試験期間：約2ヶ月
- 検体必要量：10 g～

オプション

- 負荷する糖の変更(グルコース、スクロース、でんぷんなど)
- 試験群及び測定ポイント追加(15分や150分など)
- 糖尿病モデルの使用
- インスリンの測定の追加
- 動物種をラットに変更
- 混餌または連続投与による長期間飼育の試験

上記の様な試験のカスタマイズは可能性です。お気軽にご相談ください。

その他

血糖値の上昇を緩やかにする効果を期待する食品などの場合、でんぷん(またはグルコース)を投与せずに、検体及び対照品を投与し、血糖値の変化を比較する試験も可能です。

いわゆるGI値の算出は出来ません。あくまで投与後の血糖値の推移のみの結果となります。

試験結果例

